

悠悠手にしてほしい一冊

第 21 号 宇都宮大学附属図書館
平成 27 年 12 月

何を読めばいいのかわからない…そんなあなたにオススメの図書をご紹介します！
購入予定図書の情報は、準備が整い次第ブックログ版に掲載しております。
ブックログ版には、右の QR コードよりアクセス出来ます（スマートフォン用）。
様々な本と出会い、悠悠自適な図書館ライフをお送りください。



第1感「最初の2秒」の「なんとなく」が正しい：

マルコム・グラッドウェル著 光文社

推薦者：教育学部 教授 久保田 善彦

第1感」とは、直感的なひらめきです。緻密な分析も大切だけど、それと同じくらいに大切なのが、一瞬のひらめきです。第1感を信じててもよい場合、信じてはいけない場合を、心理学実験の結果から解説しています。自分のひらめきを大切にしている（したい）人だけでなく、心理学実験に興味がある人にもおすすめの本書です。

配置場所：本館 2F 請求記号：145.1||G48

悲しき熱帯：クロード・レヴィ＝ストロース著

中央公論社 推薦者：国際学部 教授 柄木田 康之

著者の自叙伝、アマゾン先住民社会への紀行文＝調査報告、人類文化に関する思索が錯綜する名著。滅ぼされてしまっている文化への哀悼・共感と、滅ぼしてしまっている自文化の欺瞞への批判・告発が、自伝・紀行文・思索のさまざまな部分で共振しあう。先住民文化と近代文明の区分・比較が無意味であると思わせる著作である。

配置場所：本館 2F 請求記号：389.6||L57||1



ある明治人の記録—会津人柴五郎の遺書—：

石光真人(編) 中公新書

推薦者：農学部 教授 大栗 行昭

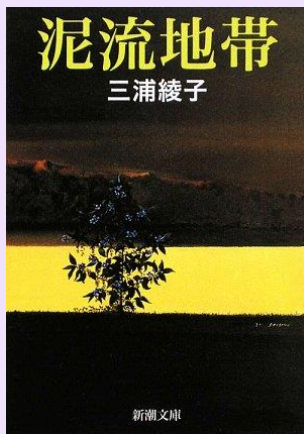
朝敵とされた藩士の子ながら陸軍大将となった柴五郎。10歳のとき会津の城が落ち祖母・母・姉妹が自刃。流人同然の生活を強いられ死線をさまようが、恥辱をすすぐべしとの父の厳命を胸に刻む。逆境を逃れようと、機会をとらえて前途を開いていく少年の姿に、涙が止まらなかった。激変の社会を生きる青年に、この本を推す。

配置場所：本館 2F 請求記号：081.6||57||252b

理系のための英語最重要「キー動詞」43: 原田 豊太郎著 講談社
推薦者:工学研究科 教授 渡辺 裕

英語の動詞と日本語の動詞は1対1で対応していません。皆さんが英語の論文を読むとき、なるほどと思う表現があると思います。しかし、自分で英文の論文を書くとき、なかなか同じような表現が出来ないことがありますか？よく知っている動詞のこれまでは知らなかった意味や使い方をを知るため、本書は役立つと思います。

配置場所:本館 3F 請求記号:408||Ko19||1915



泥流地帯、続)泥流地帯: 三浦綾子著 朝日新聞社
推薦者:図書課職員 小堀 朋彦

大正15年、北海道十勝岳が大規模な爆発を起こし、当時、上富良野を中心に死者・行方不明者144名、負傷者200名、流失・破壊家屋372棟という大災害となった。本作品は、この時の噴火を描いた小説です。十勝岳の麓で暮らす一家。貧しい農村の暮らしの中でも真面目に生き、心豊かに暮らす人々。しかし、自然はどんな人間に対しても平等に牙をむく。本作品の中では、数々の苦難にあっても、強く正しく生きる兄弟の姿に心が打たれます。

配置場所:本館 2F 請求記号:918.6||217||11

From U.U.Library

●学生選書コーナー（本館2階及び分館）をリニューアルいたしました。選ばれた本は計313冊です。参加された学生さんたちによる手書きのポップにも注目！！

●本館3階展示スペースにて、企画展「世界で評価される日本文化」を開催中です。

